

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	看護師確保対策事業				シート番号	011-176
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進	課 評価責任者(課長名)
						河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 60 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	看護師等の人材確保の促進に関する法律、堺市堺看護専門学校運営補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	看護師不足の解消は自治体の責任において対処しなければならず、特に看護師の養成については堺市も積極的な姿勢をとる必要がある。堺市医師会が専門課程・看護科の増設を目的に堺看護専門学校を整備するに際し、学校運営に対する補助を開始。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺看護専門学校運営			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	医療機関における看護師の量的・質的確保を図ること。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	医療機関における看護師の量的・質的確保を図るため、看護専門学校を運営する堺市医師会に補助を行う。 なお、同校の合計定員は320人で内訳は次のとおり。 准看護科: 学年定員40人(修業年限2年) 看護第1科: 学年定員40人(修業年限3年) 看護第2科: 学年定員40人(修業年限3年)			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般社団法人 堺市医師会				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	39,900	39,900	39,900	39,900	39,900	39,900	39,900
主な事業費内訳	補助金	千円	39,900	39,900	39,900	39,900	39,900	39,900
		千円						
		千円						
		千円						
	国・府支出金	千円						
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
財源内訳	市債	千円						
	その他()	千円						
一般財源	千円	39,900	39,900	39,900	39,900	39,900	39,900	39,900
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	40,720	40,720	40,720	40,720	40,710	40,710	40,720

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	看護師確保対策事業	シート番号	011-176
-------	-----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>堺市医師会が設置する堺看護専門学校の運営経費の一部について補助を実施。その結果、下記に記載するとおり看護師等の養成や潜在看護師の復帰支援が行われ、医療機関における看護師の量的・質的確保に繋がった。</p> <p><令和元年度 実績> 堺看護専門学校は、准看護師になるための准看護科(修業年限2年)及び看護師になるための看護第1学科(修業年限3年)、准看護師から看護師になるための看護第2学科(修業年限3年)の3学科を設置し、准看護師及び看護師の養成を行っている。 各学科とも入学定員は40人であり、令和元年度の入学者数は准看護科43人(留年4人を含む。)、看護第1学科38人、看護第2学科33人であり、令和元年度の卒業生数は准看護科28人、看護第1学科39人、看護第2学科35人であった。 また、各学科での看護師等の養成だけでなく、看護師の資格を有しているが現在は医療業務から離れている潜在看護師が医療業務に復帰することを支援するため、潜在看護師の再チャレンジ講座を実施した。市内の看護専門学校のうち、潜在看護師の復職支援講座を実施しているのは、堺看護専門学校のみである。 なお、令和元年度の市内就職者数は31人。</p>								
		15	卒業生数	人	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
					目標値	108	108	108	114	
					実績値	114	111	102		
					達成率	106%	103%	94%		
					評価	良い	良い	普通		
			算出方法・設定根拠など 令和2年度の目標値は、実績値を踏まえて定員の95%を目標とする。							
			16	卒業生市内就職率	%	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
						目標値	40	40	40	50
						実績値	28	32	42	
					達成率	70%	80%	105%		
					評価	少し悪い	普通	良い		
		算出方法・設定根拠など 市内就職率の分母は当該年度の卒業生(進学者等を除く)。								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	在学者数	人	313	299	285
	②	上記①にかかる年間経費	千円	40,720	40,720	40,710
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	130,096	136,187	142,842
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	評価指標である「卒業生数」については、卒業及び国家資格取得に向けた適切な指導が行われていることから、ほぼ目標を達成している。 また「卒業生市内就職率」については、市内就職率を向上するため、就職相談担当者を新たに4人配置し、実習先の医療機関等への働きかけを強化したこと等により、令和元年度は目標を達成した。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	看護師確保対策事業	シート番号	011-176
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 看護師不足が深刻化するなか、本市の看護師確保に不可欠な事業。廃止した場合、看護師不足から本市の医療の提供体制に影響を及ぼす。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 看護師養成課程は3年であり、市が支援を休止することで、学校運営が困難になった場合、在校生は養成課程を修了することができず、看護師資格が取得できなくなる。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 同事業は、全国的に看護師不足の状況にあるなか、市内医療機関や診療所の看護師を確保するため、看護師の養成に必要な経費(人件費等)に補助するものであり、市内の地域医療や救急医療体制を維持し市民の健康や命を守るためにも、同事業のコスト縮減はできない。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 同事業の補助対象となる運営費について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の恐れから、3密を避けるためにオンライン授業等の対応をしている。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 市直営で実施する自治体がある中、市内病院や診療所とのネットワークや専門的知見を有する堺市医師会が運営することで、効果的かつ低コストで実施できている。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 堺市内医療機関における看護師の量的・質的確保を行うため、本事業を継続して実施する方針。			